

研究助成 成果報告書

研究助成課題の成果報告書は、毎年1回、当財団のホームページで発表します。
については、下記の要領で作成をお願い致します。

研究課題の成果報告書の書き方

1. 報告書の形態

- (1) 用紙サイズはA4 サイズ、縦に使用して下さい。また研究成果を、原則として4頁に要約して下さい。
- (2) 割付け、文字数、行数等は、添付のレイアウト図を参照下さい。
横書きで、2段の構成です。
- (3) 文章中に含まれる英語等外国語のスペルはや数字は、半角文字相当でお書きいただいても結構です。
- (4) 原稿、フロッピーはお返しできません。

2. 内容

- (1) 課題名は、日本語と英文による併記をお願いします。
- (2) 共同研究者名の記入は、報告者が必要と判断された時に記入下さい。
この場合、この報告書が財団のホームページにのることについて、ご当人の了解を得ておいて下さい。
- (3) 成果の内容は、次の順序でお書き下さい。
それぞれの項目毎の文字数や配列は、特に規定はありませんので、自由にお書き下さい。

(A) 【研究の目的】

助成金申請書記載の、研究の目的をお書き下さい。

(B) 【研究の内容、成果】

出来るだけ、図、写真、表、グラフ等を利用して、これらのキャプション
は日本語でも英語でもかまいません。併記であれば、なお結構です。

(C) 【今後の研究の方向、課題】

当課題の今後焦点をあてて下さい。

(D) 【成果の発表、論文等】

助成課題に直接関係のある、既に発表された論文(論文名、発表学会等)のほか、これから発表予定のあるものをお書き下さい。
予定の場合は、発表予定学会等、可能な範囲でお書き下さい。
この項に限り、全文字に半角を使用されても結構です。